

球陽高校SS理数探究Ⅱ 発表評価用ルーブリック(数学)

身につけてほしい力		Excellent(5)	Good(4)	Developing(3)
主体的な探究心	定義の設定	研究に必要な定義を考え自身で研究内容を表現することができる。その発展的な内容の定義も表現することができる。	定義を考え、自分自身で研究内容を表現することができる。	必要な定義を書けなかった。
	命題の設定	研究の内容を命題として記述することができる(真偽を問える文章が書ける)。さらにその発展的な内容を命題として表現することができる。	研究の内容を命題として記述することができる	研究の内容を命題として記述できない
論理的思考力・表現力	論理性	命題を証明することができる	命題の真偽を推測することができる	命題の証明や推測などを行うことができない
	表現力	図表などが分かりやすく効果的に用いられており、視覚に訴える構成になっている。また、定義命題等が数学用語を用いて記されている。	必要に応じて図表などが使用されているが、視覚的に分かりにくい。定義、命題等が記されている。	必要に応じて図表が用いられていない。定義、命題等が記されていない。
対話的な協働実践力	質問応答	質問に対する回答は、研究内容の理解に基づいた詳細なものである。	質問にはすべて回答していたが、研究内容の理解が十分でないところがある。	質問に回答できない、質問の意図とは無関係の回答が目立つ。
	チーム力	グループのメンバーが等しく活躍する機会をつくりながら、チームで協力して発表することができる。	たどたどしいところもあるが、チームで協力しながら発表することができる。	研究内容の把握に偏りがあり、チーム全体で発表に臨めていない。